金口議員（民主県政会）

平成 28 年２月 22 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）グローバルリーダー育成校設置の進め方について

今次定例会にグローバルリーダー育成校設置準備に向けた予算案が提案されているが，この学校は，広島県教育委員会が平成２６年１２月に策定した広島版「学びの変革」アクション・プランに基づくものである。

「学びの変革」を先導的に実践する学校と位置付けられており，先進的なものであることは確かである。

昨年１２月定例会において，知事は「日本一，世界一の学校をつくりたい」という意思を示し，開校時期はできるだけ早い時期が望ましく，「議会とも十分協議しつつ」平成３０年度開校を一つの目標とする旨を述べた。

あと２年という猛スピードで開校を進めようとしているが，丁寧な説明と慎重な議論が必要であると考える。

予算計上されている実施設計費の前提条件となる候補地の選定について，教育委員会は，先日，４つの選定基準を公表し，期限を切らず幅広く提案を受け付けることとした。

その基準の一つである「地域の賛同が得られ，生徒に対する住民等からの支援」を実現するためには，グローバルリーダー育成校のコンセプトについて，県内各市町や地域住民など，広く県民の理解が必要である。

また「自然豊かな学習環境」を有する地域については，その多くは過疎・高齢化が進んでおり，住民と生徒が一体となった様々な体験活動を行うなど，地域に密着した学校の設置を期待しているのではないかと考える。

そこで，グローバルリーダー育成校設置の選定基準である「地域の賛同と住民等からの支援」を得るため，市町との連携はもとより，設置の理念や必要性について，地域の理解を得ることが求められるが，どのように取り組むのか，教育長に伺う。

（答）

グローバルリーダー育成校におきましては，生徒たちが，地域の方々と協働して，少子化・高齢化など，地域が抱える「現実の課題」の解決に取り組む「プロジェクト学習」を充実させるなど，多様性あふれる環境の中で，生徒たちが主体的に取り組む様々な学習活動を実施してまいります。

また，この学校は，「全寮制」の学校であり，親元を離れた環境の中で，地域から子供たちが孤立するようなことは，絶対にあってはならないと考えております。

このように，学習面・生活面いずれの観点からも，「地域の賛同と住民などからの支援」は，必要不可欠な要素であると考えております。

このため，設置場所を選定するに当たりましては，この学校のコンセプトや教育活動の内容などにつきまして，候補地が所在する市町にしっかりと説明を行った上で，地域の皆様の思いをしっかりと受けとめていく必要があると考えております。

また，設置場所決定後におきましても，学校を設置する市町や地域住民の方々とは，定期的な意見交換会を開催するなど，多くの方々の御理解を得られるよう，取り組んでまいります。